2025.07.27

お問い合わせ

「メノエイドコンビパッチ」出荷停止のお知らせ

2025年7月25日、日本産科婦人科学会から「メノエイドコンビパッチ」出荷停止の案内がありました。
「メノエイドコンビパッチ」は、更年期障害などに対するホルモン補充療法（HRT）で用いられる薬剤で、エストロゲン（E：卵胞ホルモン）とプロゲスチン（P：黄体ホルモン）の合剤です。
この薬剤は、ホルモン成分を皮膚から吸収するパッチ剤で、週2回貼り換えるタイプであり、当院でも多くの方に処方しております。

今回、製剤のフィルムの一部が剥離するというケースが発生したことから、メーカーは万全を期して。この薬剤の自主回収および出荷停止を決定したそうです。
ただし、有効性への影響や重篤な健康被害の恐れはない、と考えられているため、現在メノエイドコンビパッチをご使用中の方は、手持ちの薬剤を従来通り継続して頂きますよう、お願い致します。
尚、手持ちが終了した方は、出荷が再開するまでの間、別の薬剤を使用することになります。以下、当院での代替処方例をお示しします。

〇ジュリナ錠（E）+エフメノカプセル（P）

ジュリナ錠1錠または2錠と、エフメノカプセル1個を就前に毎日服用して頂きます。

〇エストラーナテープ（E）+エフメノカプセル（P）

2日に1回エストラーナテープを貼り替えて頂き、エフメノカプセル1個は就前に毎日服用して頂きます。

〇ディビゲルまたはル・エストロジェル（E：ジェル状）+エフメノカプセル（P）

ディビゲル1包またはル・エストロジェル(1プッシュまたは2プッシュ)を毎日1回皮膚に塗って頂き、エフメノカプセル1個は就前に毎日服用して頂きます。

ちなみに、上記のエフメノカプセルにより、日中眠くなるなどの副作用が強い方は、プロゲスチン製剤として「デュファストン錠」に切り替えることもあります。
また、閉経後骨粗しょう症でHRTをされている方は、EP合剤の内服薬である「ウェールナラ配合錠」を連日1Tずつ服用して頂くこともできます。

当院では薬剤の切り替えの際、ご本人とご相談の上、最も適した薬剤をお勧め致します。
尚、今後メノエイドコンビパッチの出荷再開の情報が入りましたら、ご報告致します。

診療科目　産科・婦人科

住所　〒158-0081　東京都世田谷区深沢6-20-8

03-3701-5681

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:00	●	●	●	／	●	●	／
14:00～18:00	●	●	●	／	●	／	／
14:00～16:00	／	／	／	／	／	●	／

電話受付　9:00～18:00
（土　9:00～16:00）
※外来は原則として予約制となります。
※受付は診察終了時間の30分前までにお願いします。

休診日　木曜・日曜・祝日

- アクセス
- 院長コラム
- 婦人科疾患
- スタッフブログ
- プライバシーポリシー

- 母乳外来
- マタニティヨガ、産後ヨガ
- 産後ケア入院

婦人科

- 検診のご案内
- 婦人科疾患
- 更年期障害・プラセンタ療法・膣外陰部レーザー治療
- 避妊・中絶・流産手術

Page Top

©2023 冬城産婦人科医院.